



鎮静下での胃内視鏡検査が 導入されました！

「胃内視鏡検査（胃カメラ）」は、「痛い・苦しい」というイメージはありませんか？

また、胃内視鏡検査で、痛い・苦しいという経験をした方は、再び検査を受けるのに勇気が必要ですね。

そこで！

この度、鎮静下での胃内視鏡検査を導入することになりました。

「鎮静下」というのは、鎮静剤を血管から投与することで、眠った状態、またはぼんやりとした状態で検査を実施することです。

健診時の採血の際に、鎮静剤を投与するための針を腕に留置します。

通常の胃内視鏡検査の料金に、2,200円追加することで、鎮静剤を使用した検査に変更することができます。

※1日に検査できる人数に制限があります。

鎮静下での胃内視鏡検査についての注意点

- ・胃内視鏡検査後、1時間ベッドで休んでいただく必要があります。
 - ・鎮静剤を使用するため、車の運転は控える必要があります。
- 健診日には、どなたかの送迎が必要です。

胃の異常の早期発見のために、定期的な検査は大切です。

鎮静剤を使用すれば、苦痛が少なく胃内視鏡検査を受けることができます。

ご希望の方はお気軽にご連絡下さい。

連絡先：総合健診センター 受付

電話：0576-23-2233

